



【趣旨】

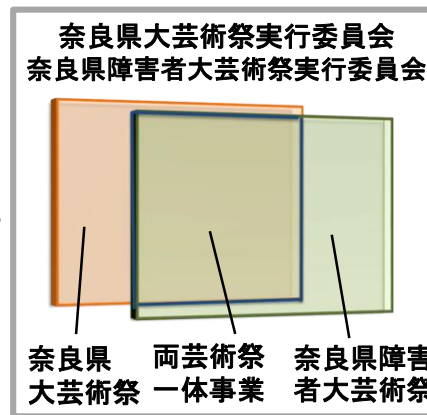
平成29年度に全国で初めて国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭を一体開催した本県において、平成30年度から「奈良県大芸術祭」と「奈良県障害者大芸術祭」を一体開催しており、障害のある人もない人も共に楽しむことができる芸術祭の開催に努めてきた。

両芸術祭の一体開催を踏まえ、これまで以上に障害のある人もない人も楽しめる事業展開を行うとともに、両芸術祭が、障害者、高齢者、女性等全ての方を対象とした、**更に進んだ芸術祭となるよう、大芸祭・障芸祭の一本化を行おうとするもの。**

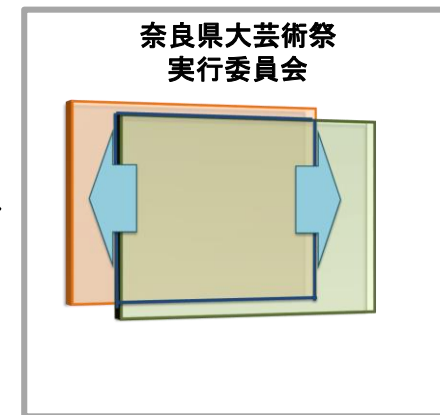
【一本化による影響】

- ① 両芸術祭を「奈良県大芸術祭」に一本化。
- ② 両芸術祭の一本化に伴い、実行委員会を統合。予算も統合されることにより、事業内容に応じて流動的に予算を配分することが可能となる。
- ③ 「障害者」の表記が消えることで障害のある人とない人の「交流・共創」が後退するわけではない旨を十分に説明する必要がある。

(現 状)



(一本化後)



【工程表】

年度	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	令和2年度
国民文化祭 全国障害者芸術・文化祭	全国初の 一体開催			
奈良県大芸術祭 奈良県障害者大芸術祭		一体開催 (1年目)	一体開催 (2年目)	一体開催 (3年目)

→ 一本化？